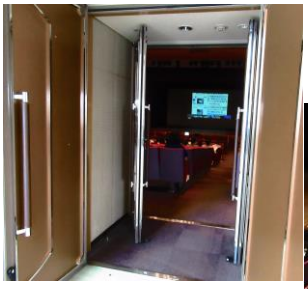
NO.４２　2020.１１月発行

【編集・発行】 塩竈市教育委員会教育部
〒985-0052 塩竈市本町1番1号
☎:022-355-8443 ファクス:022-365-3347
WEB 版 配信中
http://www.city.shiogama.miyagi.jp

文化・芸術活動の兆し。遊ホールが誘う　～ 席数制限も、胎動始まる ～



会場は密を避け、換気のためドアを開けたままで開催。

遊ホール（壱番館）は、本市唯一の本格的な中ホール。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当該ガイドライン※により、３８５席を 191 席に制限するなど、様々な対策を講じながら運営しています。文化・芸術の秋を迎え、市民の皆さんの足音が少しずつ聞こえ始めています。（※ガイドラインはホームページでご覧いただけます）

県、２市３町主催のセミナー「新型コロナウイルスを正しく恐れる」。
東北医科薬科大学・賀来（かく）氏がリモートで講演
（↑　10 月３日　遊ホール）

↑「宮城県高等学校演劇コンクール」は北部７校の演劇部が競演。
無観客で審査が行われました（10 月 17 日・18 日　遊ホール）

年度後半・遊ホール協会主催事業再開へ

市民の皆さんに良質な文化・芸術舞台を提供するため、年間の主催事業は遊ホール協会理事会で協議。

今年度はコロナ過で、年内の主催事業は自粛・見送りとしました。

一方、今般の理事会で、年度後半（令和３年１月から３月まで）については、内容の一部を見直して開催することとしました。今後、広報しおがま、ホームページなどでお知らせしていきます。ご期待ください。

遊ホール協会理事会で検討（10 月５日・壱番館）

問　市民交流センター/遊ホール協会事務局　☎ 365-5000

ふるさと塩竈の「塩」を学ぶ、つくる　～ 小学生が塩づくりに挑戦 ～

工場で、塩の歴史や製法などに聞き入る団員の皆さん

「うまくできるかな・・」
土鍋で塩水の煮炊きを体験

「ん～、うまっ　」
炊き上げた塩で食べる
ゆで卵は格別

年間を通して、ふるさとを学ぶ「しおがま“何でも“体感団」。

３ 回目の今回は、市内で製塩に携わる方を講師に、実際に塩づくりに挑戦しました。学習の最後には、炊き上げた塩で、ゆで卵をいただきました。

（10 月 10 日　市内港町）

問　生涯学習課 ☎ 362-2556

新しい日常に、スマホをもっと活用　～　スマートフォン入門＆アプリ講座を連続開催　～

入門編(9 月 23 日　視聴覚室)

アプリ講座(10 月 21 日　視聴覚室)

視聴覚センターでは、スマートフォンを活用してもっと暮らしを便利にするため「スマートフォン講座」(入門編・アプリ編)を、9 月～12 月、毎月開催しています。

講師陣は、NPO「仙台シニアネットクラブ」の皆さん。参加の皆さんは「わかりやすく教えていただいた。これからもっと活用したい」と話しています。

次回入門編は 11 月 25～27 日に開催されます。

問　視聴覚センター（壱番館）　☎365-4500

みやぎ心の復興「朗読講座」スタート　～　近隣市町の皆さんが集い、ともに学びます　～

「自然な呼吸」とは？
熱心に受講する皆さん

震災からの心の復興を目的に、宮城県文化振興財団主催・市教委共催「朗読講座」（全 9 回)が始まりました。講師はアナウンサー・朗読家の渡辺祥子さん。一緒に学び合い、来年 2 月の最終日に各受講生が成果を発表します。（← 10 月 20 日　公民館）

問　（公財）宮城県文化振興財団　☎　225-8641

優しい音色に包まれたひととき　～　壱番館ロビーでトーンチャイムコンサート　～

コロナ禍で何かと不安やストレスを抱える日々。

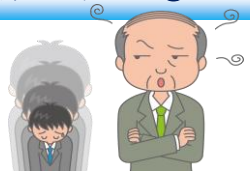
そのような中、市民の皆さんに癒しを届けようとトーンチャイム（普及型ハンドベル）サークルの皆さんが、壱番館でコンサートを開催しました。

お昼のひととき、優しい音色が響き渡ると、思わず足を止めていました。（←10 月 13 日　壱番館 2 階）

問　壱番館管理運営委員会　/市民交流センター　☎365-5000

ちょっとだけ
Pickup

シリーズ「あるある」地域のコトバ　④



小学 3･4 年生の社会科副読本
『**わたしたちのしおがま**』の方言集。

「カツケル」

・意　味　なすりつける、人のせいにする
・用　例　人さカツケてだめだべや⇒人のせいにしてだめじゃないか
※参考：『わたしたちのしおがま』（H24 年市教委発行）より一部抜粋

問　『わたしたちのしおがま』改訂・編集会議事務局　☎　355-8443

編集後記

■まちを歩くと金木犀の香りが、スーパーには梨や柿が、窓の外には色づいた山が、マスクをして合唱する学生の姿が、最近は肌寒い日が…五感で感じる秋。芸術、読書、食欲、色々な秋を堪能したいです。（愛）

■季節ごとの催事は、普段の暮らしをどれだけ彩っていたかを都度思い知る。劇場活動は「あったほうがいい」から「なくてはならない」へ舵を切る。音楽や映画は、毎日食べるパンを一層おいしく栄養豊かにする（幹）

Movement　～１１月の動き　～

1 日（日）エスプコンサートドメニカ　☛　エスプ
2 日（月）浦戸小中学校入学説明会☛防災センター
3 日（火・祝)オープンアトリエ☛市民図書館創作室
5 日（木）塩竈市教育功績者表彰式☛エスプ
8 日（日）塩竈こどもゆめ議会☛市役所議場
～8 日（日）オリジナルしおりをつくろう☛市民図書館
10 日（火)～15 日(日)塩竈市美術展☛エスプ
17 日（火）かまぼこ贈呈式☛三小
22 日（日）クイーンズ駅伝☛市内
25 日（水）教育委員会定例会　☛壱番館庁舎
25 日(水)～27 日（金）スマホ入門講座☛視聴覚室
28 日（土）「なんでも体感団」④鹽竈神楽体験
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定が変更される場合があります。ご了承ください。
○事業名・会場名は一部略称で表記しています。